

2024～2025 地域ネットワーク団体へのアンケート 結果

団体名や所在地、連絡先など情報が特定できる質問及び回答は割愛しています。

【要約】

愛知県下の8つの地域ネットワーク団体にアンケートをお願いしました。

もともと愛知の地域ネットワーク団体は、支援品分配のハブとしての役割から始まり、さらにはその支援品分配の活動を通じて、さまざまな拠点とのつながりができ、「いばしょ」の新規立ち上げ支援や運営支援、行政との連携支援等といった重要な役割を担っています。また複数の「いばしょ」拠点横串でのイベント開催や勉強会を行い、「いばしょ」の地域ネットワーク全体を活性化するための重要な役割を担っています。「いばしょ」ネットワークにとっては、なくてはならない存在です。

① 地域ネットワーク団体の運営費用

地域ネットワーク団体で必要な運営費用は、年間当り10万円～30万円という団体と30万円以上という団体に2分化されています。これは初期の地域ネットワーク団体(支援品分配のハブ拠点)の段階では、「いばしょ」拠点としての運営+αの活動から始まり、次のステージになると、より広範囲は役割を持つようになり、そのための運営費用が必要になるためです。したがってそのための運営費用は、中間支援団体が後方支援することがとても大切になると考えています。

② 地域ネットワーク団体の必要性と苦勞

全ての地域ネットワーク団体は、地域の「いばしょ」を支える上で、「とても意味がある」と考えています。別の言い方をすると、そのような価値観をもった団体が、地域ネットワーク団体に名乗りをあげ、地域の「いばしょ」ネットワークを支えていると言えます。なくてはならない存在です。

各「いばしょ」の活動は多様であり、地域ネットワーク団体はさまざまな現場での難題に日々向き合いあっています。それぞれの地域ネットワーク団体は、支援活動に対する熱い志と、現実的な運営の苦しみの中で何とか頑張っているという実態です(一例は、Q10の自由記述の回答をご参照ください)。

しかしながら、このような地域ネットワーク団体という存在があることにより、ネットワーク全体としての支援活動の能力が高められ、地域全体としての支援の底力を作っている大切な要素だと私達は考えています。

③ 地域ネットワーク団体運営者のウェルビーイング

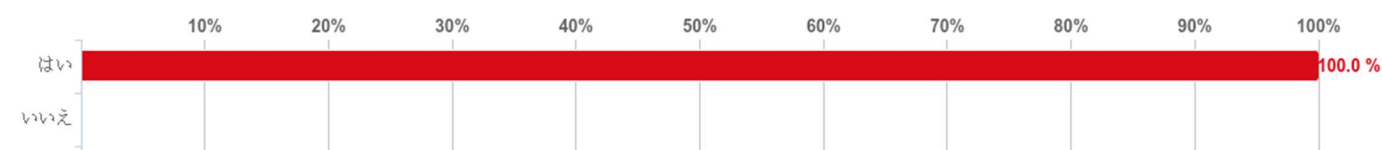
全ての地域ネットワーク団体の方が、自分自身のウェルビーイングが向上したと回答しています。「いばしょ」の利用者のみならず、支援する側の人達のウェルビーイングも向上するというWin-Winの関係が、持続可能な支援のためにはとても大切だと考えています。

Q2)皆さんの団体に、いくつの子ども食堂が登録していますか。

| 回答団体 | A | B | C | D | E | F | G | H |
|------|----|----|---|----|----|---|----|----|
| 登録数 | 25 | 10 | 6 | 15 | 10 | 3 | 15 | 12 |

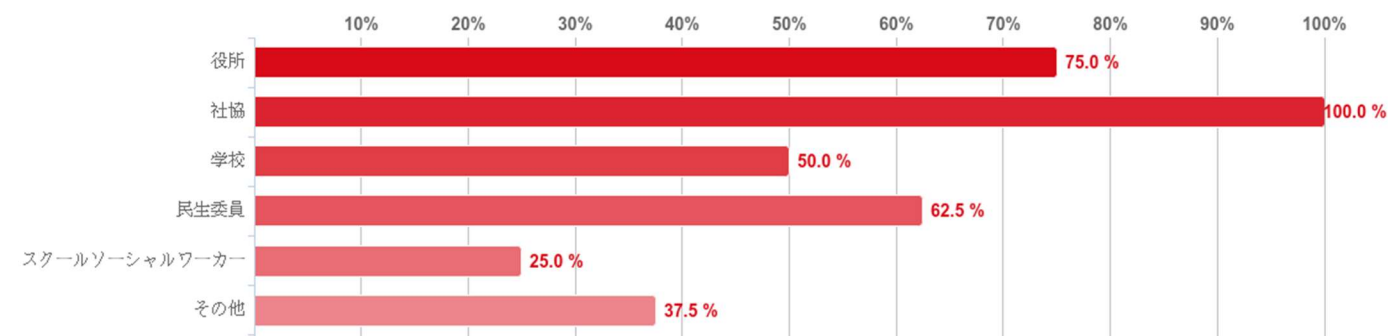
地域ネットワーク団体により、後方支援する「いばしょ」の拠点数は大きくばらついています。現在の状況では、1地域ネットワーク団体が支援する「いばしょ」の平均数は、約12拠点になっています。地域ネットワーク団体の果たすべき役割やそのために必要な運営能力向上は、今後の課題ではありますが、ネットワーク全体の能力を高めるための多様性と共通性を追求していくことが今後の課題と考えています。

Q3)連携している機関はありますか。



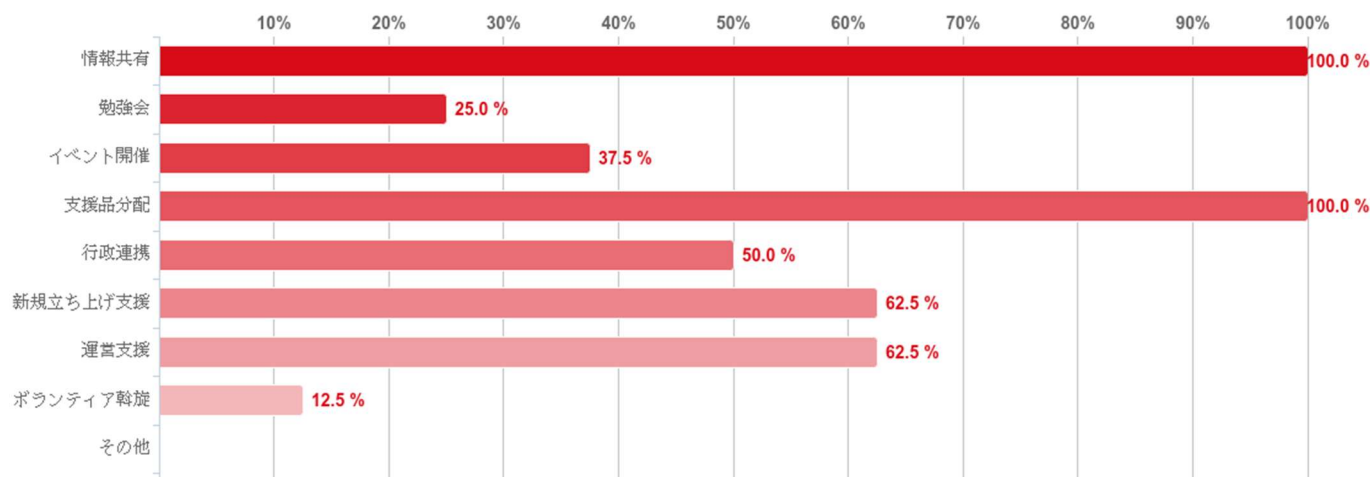
「いばしょ」の運営者へのアンケートでは、連携している機関があると答えた「いばしょ」は7割強の割合でしたが、地域ネットワーク団体の場合、やはり使命感が大きいとため、100%になります。各「いばしょ」は運営能力においてばらつきがあり、そのギャップを地域ネットワーク団体が補完しています。そのためにも地域ネットワーク団体自身がさまざまな機関と連携することがとても大切になります。さらにその地域ネットワーク団体を中間支援団体が後方支援し、「いばしょ」ネットワーク全体として、さまざまなつながりを作っていくことがとても大切でだと考えています。

Q4)前問で「はい」とお答えになった方へ。どの機関と連携を取っていますか。(複数回答可)



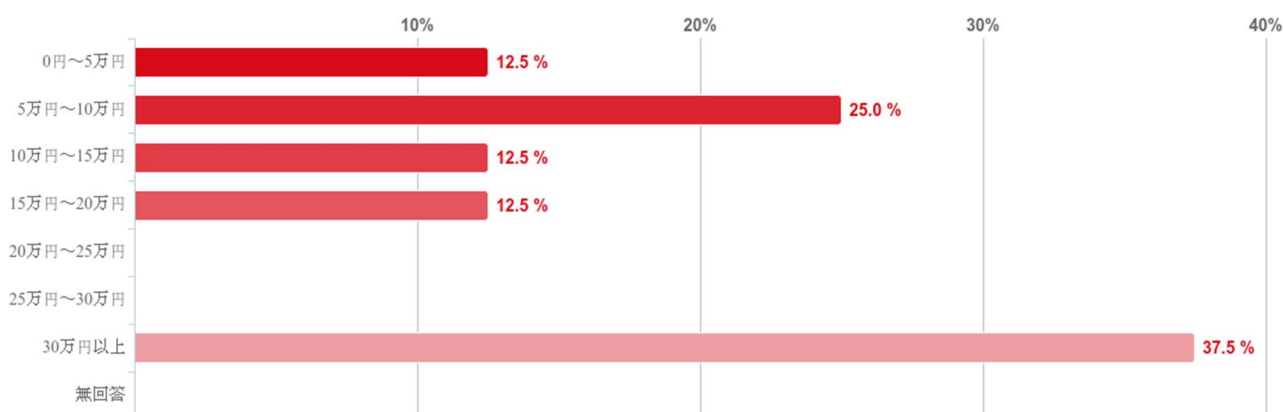
各「いばしょ」拠点が連携をとっている機関と同じ傾向になっています。（「運営者へのアンケート」をご参照ください）

Q5)地域ネットワーク団体としての活動内容を教えてください。(複数回答可)



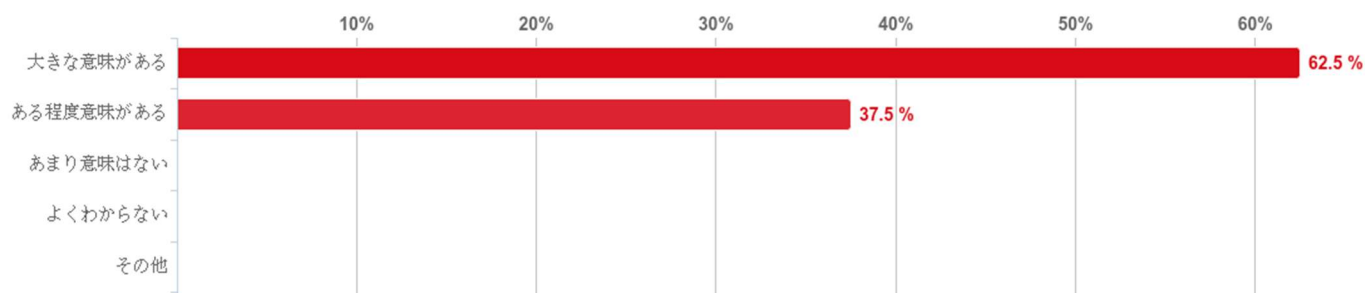
もともと愛知の地域ネットワーク団体は、支援品分配のハブの役割から始まっているため、主な活動も支援品分配とそのための情報共有が中心になっています。さらにはその支援品分配の活動を通じて、さまざまな拠点とのつながりができ、「いばしょ」の新規立ち上げ支援や運営支援、行政との連携支援なども重要な役割になっています。また複数の「いばしょ」拠点横串でのイベント開催や勉強会を行い、「いばしょ」の地域ネットワーク全体を活性化するための重要な役割を担っています。「いばしょ」ネットワークにとっては、なくてはならない存在です。

Q6)地域ネットワーク団体の運営に必要な金額を教えてください。(必要な金額とは、会場費やチラシなどです)



「いばしょ」運営者のアンケートでは、運営に必要な費用は、年間当り 10 万円～30 万円というのが平均的なイメージになっています(「運営者へのアンケート」をご参照ください)。地域ネットワーク団体においても、同じ規模の団体と 30 万以上必要と答えている団体に 2 分化されています。これは初期の地域ネットワーク団体(支援品分配のハブ拠点)の段階では、「いばしょ」拠点としての運営+αの活動から始まり、次のステージになると、より広範囲は役割を持つようになり、そのための運営費用が必要になるためです。したがってそのための運営費用は、中間支援団体が後方支援することがとても大切になると考えています。

Q7)地域ネットワーク団体の存在が、地域の居場所(こども食堂など)に与える影響について、どのように感じていますか？



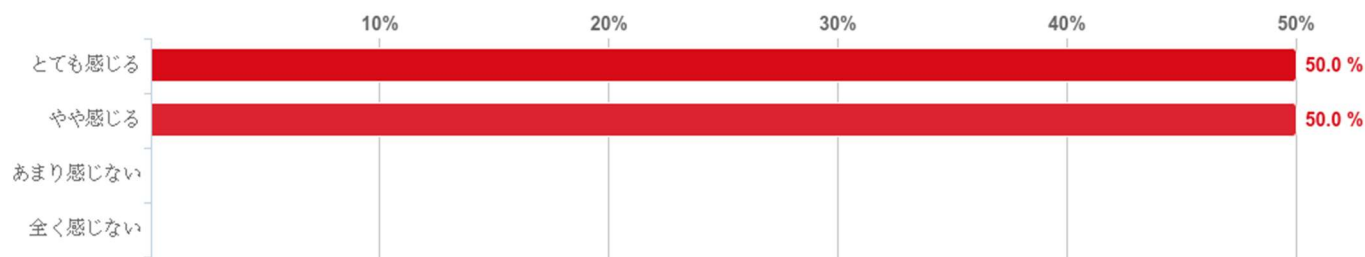
全ての地域ネットワーク団体は、地域の「いばしょ」を支える上で、「意味がある」と考えています。別の言い方をすると、そのような価値観をもった団体が、地域ネットワーク団体に名乗りをあげ、地域の「いばしょ」ネットワークを支えていると言えます。なくてはならない存在です。

Q8)前問において何故そのように感じるのか、簡単に記入してください

- 支援品を集めて分配したりすることでとても喜んでもらっている。
- 同じ市内で子ども食堂を始めたい方が相談に来られます。
- ハブとして機能できる場所が、当地域では他にないと思われるから。
- フードバンクも併設しているので、開催前に支援品の依頼が来ます。また新規開設の相談に来られます。
- 現在の食料品の高騰の為に支援や助成金などの情報共有、さらにイベントなどを通じて、同じ地域でこども食堂の立ち位置などを多くの方に知っていただく…など多くの意味があるかと思います。
- 活動が子ども食堂のみの団体が多く、そんな団体にアドバイスや情報共有等が必要。
- 既存の集まりとの交流により、多世代交流等の場を増やせると思うから。
- 子ども食堂での活動の中で、お互いに困っている時に、ボランティアや食材や運営など助け合いができています。

Q9)地域ネットワーク団体の運営はご苦労も多いことと思いますが、地域ネットワーク団体を始める前と後で、あなた自身のウェルビーイングが向上したと感じますか？

※ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に満たされた状態のことです。



全ての地域ネットワーク団体の方が、自分自身のウェルビーイングが向上したと回答しています。「いばしょ」の利用者のみならず、支援する側の人達のウェルビーイングも向上するという Win-Win の関係が、持続可能な支援のためにはとても大切だと思っています。

Q10)皆様の活動の中で、想いや課題、今後の理想など、どのようなことでも結構ですのご記入下さい。

- 引き取りや連絡など積極的に参加していただけない。こちらから連絡をしないと終了できない。
- 市内で子ども食堂を始める方もいればやめる方も出てきました。当団体として子ども食堂理念の共有を図る時と思います。
- 地域、子育て世帯のためにやりたい事は多数あるが、資金とスタッフの確保が課題。
- 他の子ども食堂とつながることで、共感したり、助け合ったり、励まし合ったりする事で相乗効果が生まれると思います。
- ネットワークを通じて、その地域のこども達が気軽に行けるこども食堂になれば幸いです。また運営側も、支援等の情報共有で助けてあいができて、さらに合同イベントなども年に一度でも開催できる資金が集まれば一番いいと思います。ただ ネットワークだと、誰が申請して管理するかなど難しい点もあるので、使いやすい助成金や寄付があると嬉しいです。
- 子ども食堂の活動の中で、子ども達がある程度自主的、主体的に関わってくれる部分が、できてくると良いと、思っている。
本来公的な支援が充実していれば無くてもいい活動を、公的支援の穴を埋める形で、また官庁の側も支援団体に対し支援を必要とする人たちを丸投げ。一方で、もっと本当に支援が必要なのではという人、家族の情報はというと個人情報だからと教えない。支援団体に対して公的な補助の提供も無いという場合が多い。
とはいえ、近隣企業、個人を含め団体を支援してくださる。また支援を求める人(中には甘えすぎと思われる場合もないではありませんが)、家族がいる限り、それをつなぐことができるのは我々だとの思いで活動しています。
- 地元を拠点として下さっている子ども食堂さんと、これからもイベントなどを開催していけたらと思っていますが、予算を集めないと行えません。事前の準備に時間がかかる分、助成金など見逃してしまったり、また助成金が取れなかったりと続けて行くことが出来るのか少し心配しています。何かいい方法など教えていただけたら嬉しいです。宜しくお願い致します。